

令和6年度北海道開発事業費 (釧路開発建設部実施分)の概要について

令和6年度北海道開発事業費(釧路開発建設部実施分)について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

担当部門	所属役職名	氏名	電話番号
			(市外0154)
全体	広報官	鈴木 亮	24-7354 (直通)
治水関係	治水課長	渡邊 一靖	24-7250 (直通)
道路関係	道路計画課長	平 記好	24-7268 (直通)
港湾・水産関係	築港課長	加藤 直樹	24-7326 (直通)
農業関係	農業開発課長	森本 忠明	24-7349 (直通)



令和6年度

北海道開発事業の概要
(釧路開発建設部実施分)

令和6年4月

釧路開発建設部

別紙

令和6年度 釧路開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	1,231	
道 路	22,787	
港 湾 整 備	3,381	
都市水環境整備	271	
農業農村整備	4,132	
水産基盤整備	3,221	
合 計	35,022	

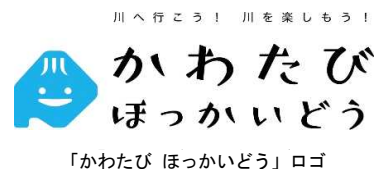
- 注) 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。
2. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

治水事業

○強靱で持続可能な国土の形成

国が管理する一級河川釧路川水系においては、第9期北海道総合開発計画における「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」を実現するための治水事業を実施します。令和6年度は、近年の災害や気候変動の影響による降雨量の増大を踏まえて、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む流域治水を更に加速化・深化させるために取りまとめた「釧路川水系流域治水プロジェクト2.0」に基づき、釧路湿原など自然環境がもつ貯留・遊水効果を保全するとともに、ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進します。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的、かつ集中的に対策を講じ、強靱な国土づくりに取り組みます。

あわせて、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。



《河道整備》



釧路川の河道整備状況

治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	釧路川	洪水による災害の発生防止、軽減を図ることを目的に河道の掘削、堤防の整備などを行います。
河川維持修繕	釧路川	堤防や樋門などの河川管理施設の維持管理を行います。
総合流域防災対策事業	—	火山噴火に対する危機管理行動計画などの検討を行います。

道 路 事 業

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、従来の北海道の強みである「食」と「観光」を一層強化するとともに、再生可能エネルギーのポテンシャルによる「脱炭素化」を新たな価値と位置付け、豊かな北海道を実現し我が国の経済安全保障に貢献することを目指し、北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展を図ることとしています。

道路における具体的な取組としては、「世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」に向け、農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備等を推進します。また、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に向け、道の駅における情報提供の多言語化、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。さらに「ゼロカーボン北海道の実現」に向け道の駅における急速EV充電施設の設置等を推進します。

気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」に向けて、災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークの強化、社会経済活動を支える道路施設の予防保全型のメンテナンスへの転換、i-Snow等のインフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

1 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

- ・北海道横断自動車道根室線 本別～釧路（令和6年度全線開通予定）
- ・国道44号（北海道横断自動車道根室線） 尾幌糸魚沢道路
- ・国道38号 釧路新道（令和6年度全線開通予定）



北海道横断自動車道根室線 本別～釧路



国道38号 釧路新道

生産性向上が期待されるストック効果

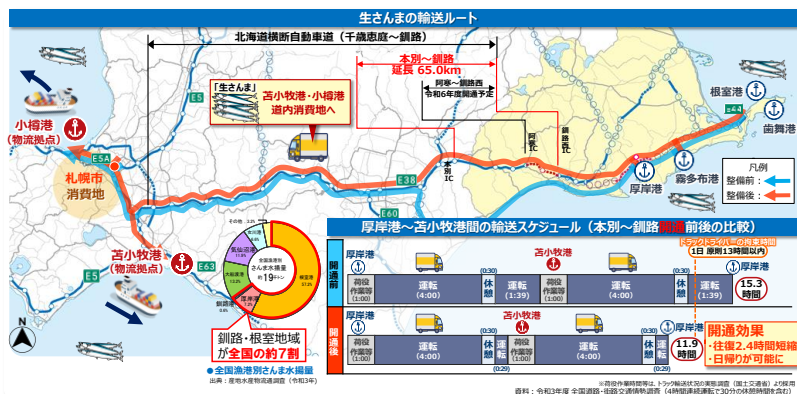
北海道横断自動車道 本別～釧路 根釧地域の農水産品輸送を支援-

(北海道横断自動車道 阿寒 IC～釧路西 IC【令和6年度開通予定】)

○北海道横断自動車道（本別～釧路）の整備により、厚岸港～苫小牧港への所要時間は、整備前よりも往復2.4時間短縮されます。

○消費地や輸送拠点へのアクセス性が向上することで、ドライバー負担や輸送コストが軽減され、安定的な流通が確保されていることから、持続可能な物流ネットワークの構築を支えています。

▼根釧地域で生産される農水産品輸送の支援



2 多様で豊かな地域社会の形成

○「道の駅」における子育て環境の創出

親子で滞在しやすい子育て環境創出のため、子育て応援施設の整備を推進します。

○「道の駅」における情報提供の多言語化

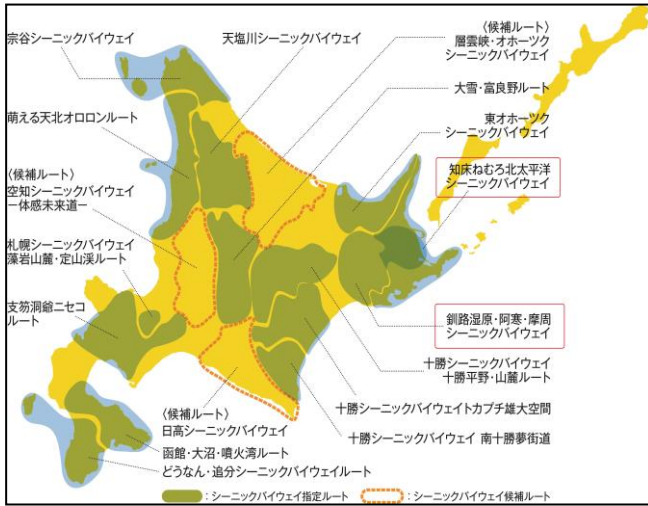
日本政府観光局（JNTO）外国人案内所の認定取得や、多言語による観光地案内・道路情報提供の充実等の取組を推進します。

3 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。平成17年度より開始し、現在、14の指定ルートと3つの候補ルートがあり約500団体が活動しています。

また、シーニックバイウェイ「秀逸な道」では、道内各地の活動団体がお薦めする特に魅力ある景観等を有する道路を認定し、景観の維持・形成や誘客に向けた情報発信等を重点的に実施します。管内では令和3年度に2区間、「弟子屈町の国道243号美幌峠～屈斜路湖」と「中標津町道 武佐北19号道路（ミルクロード）・開陽台観光道路」を認定して本格展開を開始し、多様な関係主体の連携のもと、道路を地域の観光資源として活用することにより、北海道のドライブ観光をより一層促進します。



シーニックバイウェイ北海道のルート



シーニックバイウェイ「秀逸な道」

○サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。



北海道内のサイクルルート

4 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月閣議決定)を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」を令和3年4月に策定し、耐災害性の強化や災害時におけるネットワーク確保のため防災震災対策や高規格道路のミッシングリンク解消を推進します。

- 北海道横断自動車道根室線 本別～釧路
(令和6年度全線開通予定)
- 国道44号(北海道横断自動車道根室線)
尾幌糸魚沢道路
- 国道38号 釧路新道(令和6年度全線開通予定)
- 国道44号 根室防雪(令和7年度全線開通予定)
- 国道44号 雪裡橋架替
- 国道272号 上春別防雪



国道44号 根室防雪
(別当賀橋下部工建設)

○防災、歩行空間の確保、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術を積極的に導入しつつ、スピードアップを図ります。

- ・国道38号 釧路橋北地区電線共同溝ほか2か所

○社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

- ・国道38号ほか 橋梁修繕、舗装修繕

○冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン^注を含む）派遣による自治体支援に向けた情報収集などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

（注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）

- ・国道243号 美幌峠雪崩対策

○交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」^注を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。また、通学路における安全対策においては、令和3年6月に千葉県八街市で発生した事故を受けて実施した通学路合同点検の結果に基づき、対策を推進します。

- ・国道38号 白糠恋問交差点改良ほか9か所

（注：事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組）

○「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、地域の防災力向上に資する防災拠点の整備や機能向上を図っています。

令和3年6月には地域防災計画等で広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅のうち、管内では「厚岸グルメパーク（厚岸町）」が「防災道の駅」に選定され、更なる防災機能強化に向けて、BCPに基づく防災訓練等について重点的に支援していきます。

道路事業の概要

路線・地区名	主要事業
<p>E38 北海道横断自動車道根室線</p>	<p>[高規格道路の整備] 本別～釧路（令和6年度全線開通予定）</p>
<p>E44 国道44号（北海道横断自動車道根室線）</p>	<p>[高規格道路の整備] 尾幌糸魚沢道路</p>
<p>国道38号</p>	<p>[道路の改築] 釧路新道（令和6年度全線開通予定）</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>[老朽化対策] 橋梁修繕、舗装修繕</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>[無電柱化の推進] 国道38号 釧路橋北地区電線共同溝 国道44号 釧路入江電線共同溝</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>国道44号 根室電線共同溝（令和6年度新規事業化） [交通安全対策の推進]</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>国道38号 白糠恋問交差点改良 国道38号 鳥取大通交差点改良（令和6年度新規事業化）</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>国道44号 川口中央帯整備 国道240号 鶴丘路肩改良（令和6年度新規事業化）</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>国道240号 阿寒付加車線整備 国道243号 西春別歩道整備</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>国道244号 尾岱沼視距改良 国道391号 塘路路肩改良</p>
<p>国道38号ほか</p>	<p>国道391号 塘路中央帯整備 国道392号 白糠路肩拡幅</p>
<p>国道44号</p>	<p>[道路の防災・減災対策] 根室防雪（令和7年度全線開通予定）、雪裡橋架替</p>
<p>国道243号</p>	<p>[防雪対策] 美幌峠雪崩対策</p>
<p>国道272号</p>	<p>[道路の防災・減災対策] 上春別防雪</p>

令和6年度（開通予定）

北海道横断自動車道 ほんべつ くしろ 本別～釧路

（E38道東自動車道 あかん くしろにし 阿寒IC～釧路西IC）

（直轄）

1. 概要

北海道横断自動車道本別～釧路は、高速ネットワークの拡充による釧根圏と道央圏・十勝圏、オホーツク圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び苫小牧港、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的とした延長65.0kmの高速自動車国道です。

2. 計画内容

箇所名：北海道中川郡本別町 共栄
～北海道釧路市 鶴野
延長：65.0km
令和6年度開通予定：阿寒IC～釧路西IC（延長17.0km）



▼災害時の輸送ルート強化

当該道路の整備により、災害発生時の避難先の確保や救急活動及び被災地外からの救援物資等の輸送ルートの強化が期待されます。

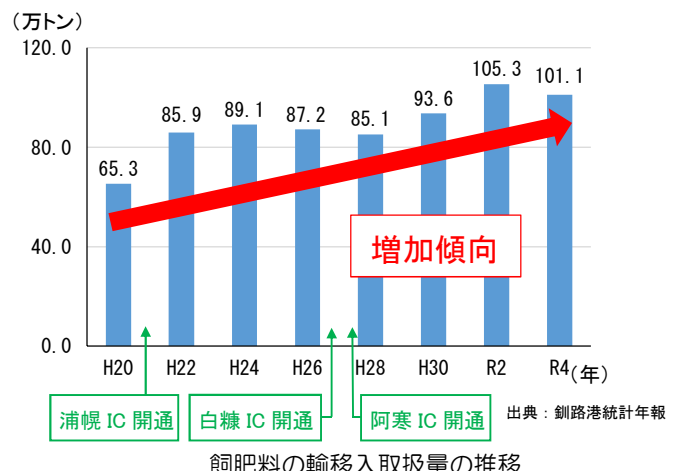


凡 例	
	R38利用
	整備前(R240・R241利用)
	道東道(釧路西IC利用)
	津波浸水予測区域
	東日本大震災による通行止区間

釧路市～帯広市間の所要時間
【R38利用】: 143分
【整備前】: 255分
【道東道】: 131分

▼重要港湾釧路港の流通利便性向上

当該道路の整備により、釧路港から輸入され北十勝地域へ輸送される飼肥料等、釧路港取扱貨物の流通利便性向上が期待されます。



出典：物流事業者ヒアリング

令和6年度（開通予定）

一般国道38号 釧路新道

（直轄）

1. 概要

一般国道38号釧路新道は、釧路空港、釧路港への物流の効率化等の支援をするとともに、釧路市街における交通混雑、交通事故の低減を図り、道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長8.8kmのバイパス事業です。これまでに全線2車線（一部4車線）で開通しており、令和6年度に全線4車線での開通を予定しております。

2. 計画内容

箇所名：北海道釧路市新野
～北海道釧路市北園

延長：8.8km

令和6年度開通予定：釧路市大楽毛～釧路市北園
（延長4.1km 2車線→4車線）

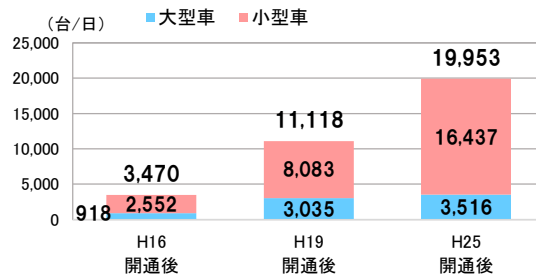


▼交通混雑の緩和

当該道路の全線4車線整備により、釧路市街における交通混雑の緩和が期待されます。



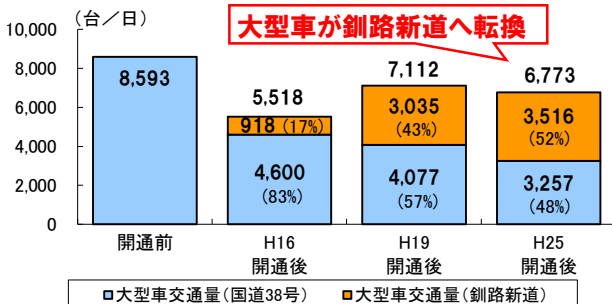
釧路市内の交通混雑の緩和



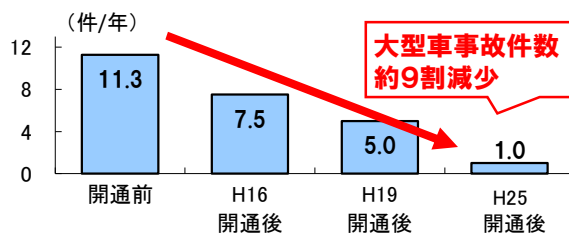
開通段階別の「釧路新道」の交通量の変化

▼道路交通の安全性向上

通過交通の転換により、市街地内での交通事故減少が期待されます。



大型車台数の変化



大型車事故件数の変化

令和6年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。

主な調査箇所は、下記のとおりです。

【主な調査箇所】

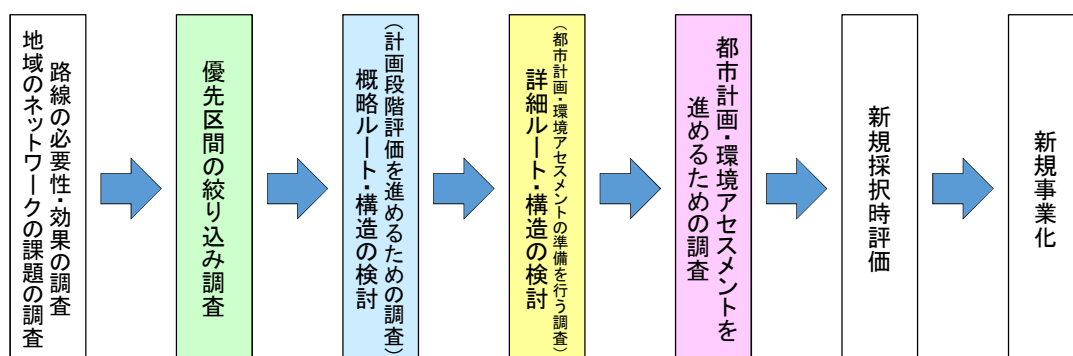
概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

北海道横断自動車道 べっぼ おぼろ 別保～尾幌

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



港湾整備事業

東北海道は、酪農に適した冷涼な気候・広大な大地や寒流・暖流の混ざり合う好漁場を有する地域であり、全国有数の生乳生産量や漁業生産量を誇り、我が国の食料供給基地として非常に重要な役割を果たしています。根室港では、根室市を含む道内6港湾管理者により策定し、平成29年5月に認定を受けた「農水産物輸出促進計画」に基づき、連携水揚港湾として屋根付き岸壁の整備を進めています。釧路港では、平成31年3月に西港区において大型船舶による飼料用穀物の大量一括輸送を可能とする国際物流（バルク）ターミナルが供用を開始し、東北海道の酪農業の安定供給を支えています。

港湾整備事業では、引き続き東北海道と本州方面や海外との更なる物流効率化や輸出競争力強化を図るとともに、激甚化する風水害への対策として、港湾における高潮、高波対策や老朽化対策など国土強靱化に向けた対策の加速化を図っていきます。また、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、ブルーカーボン生態系となる藻場の創出による脱炭素化への取組も進めていきます。

【釧路港】

西港区では、港内静穏度向上を目的とした島防波堤や新西防波堤の整備と大型貨物船などの船舶の安全な入出港を確保するため、航路及び泊地の^{シュンセツ}浚渫を実施します。

東港区では安全な荷役環境を確保するため、老朽化した西防波堤の改良を実施します。



釧路港西港区 土砂処分場整備状況

【十勝港】

本港地区では、飼料原料を運搬する大型貨物船などの船舶の安全な入出港を確保するため、航路の^{シュンセツ}浚渫を実施します。

外港地区では、漁船等の安全な利用を確保するため、泊地の^{シュンセツ}浚渫を実施します。



十勝港本港地区 航路^{シュンセツ}浚渫状況

【根室港】

花咲^{ハナサキ}港区では、新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応し、安全・安心な荷役環境を確保するため、屋根付き岸壁の整備を実施します。



根室港^{ハナサキ}花咲港区 屋根付き岸壁整備状況

港湾整備事業の概要

港湾名	地区名	事業の概要
重要港湾 釧路港	西港区 東港区	島防波堤、新西防波堤、水深 14m 航路・泊地 西防波堤改良
重要港湾 十勝港	本港地区 外港地区	水深 14m 航路、水深 13m 航路 水深 2m 泊地
重要港湾 根室港	花咲 ^{ハナサキ} 港区	水深 6m 岸壁改良、南防波護岸改良

都市水環境整備事業

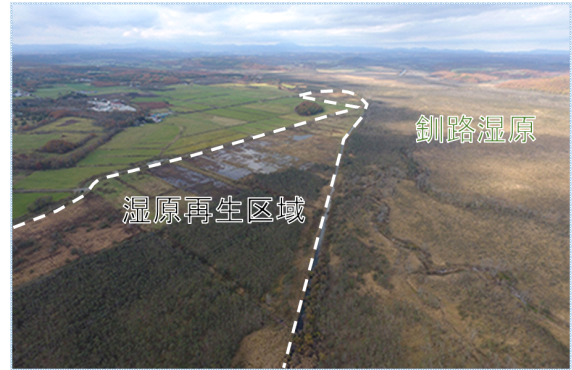
○強靱で持続可能な国土の形成

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成に資するため、釧路湿原の自然環境保全・復元を目的とした自然再生事業を推進します。

《幌呂地区湿原再生》

事業の概要 湿原再生 一式
モニタリング 一式

○地盤の切り下げにより、地表面を地下水に近づけ、湿原植生の回復を図ります。



幌呂地区湿原再生事業区域の全景

《ヌマオロ地区旧川復元》

事業の概要 掘削 一式
モニタリング 一式

○直線化された河川の旧川復元を行い、湿原本来の蛇行した河川へ復元します。



ヌマオロ地区旧川復元区域の全景

都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事業の概要
総合水系環境整備事業	釧路川	幌呂地区の湿原再生、ヌマオロ地区の旧川復元などの釧路湿原自然再生事業を行います。

農業農村整備事業

管内の農業は、夏季の農耕期間の気候が冷涼であることから酪農を主体とした経営が盛んであり、経営の安定を目指した事業展開を行っています。

・実施

○国営環境保全型かんがい排水事業（継続）

別海北部地区・根室地区において、家畜ふん尿を利用した資源循環型農業を実現するために用水路、排水路の整備を行います。



施工中の肥培かんがい施設（別海北部地区）

○国営緊急農地再編整備事業（継続）

阿寒地区において、牧草の増収や農作業の省力化に向けて、農地の大区画化や暗渠排水、排水路の整備を行います。



区画整理施工状況（阿寒地区）

○国営総合農地防災事業（新規）

川湯跡佐北地区・川湯跡佐南地区において、農地の湛水被害の解消のため、排水施設の機能回復を図ります。



農地の湛水被害

農業農村整備事業の概要

・実施地区
(継続)

事業種別	地区名	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営環境保全型かんがい排水事業	別海北部	別海町	29,411ha	用水路、排水路
	根室	根室市	5,896ha	用水路、排水路
国営緊急農地再編整備事業	阿寒	釧路市	2,407ha	区画整理

(新規)

事業種別	地区名	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営総合農地防災事業	川湯跡佐北	弟子屈町	469ha	排水路
	川湯跡佐南	弟子屈町	384ha	排水路

水産基盤整備事業

釧路・根室・十勝管内は、マイワシ、スケトウダラ、サケ、サンマ、コンブ等の豊富な水産資源を背景に多様な漁業が営まれており、道内漁業生産量の約3割を占める一大生産地域として、我が国の水産物供給基地の役割を担っています。また、厚岸地区及び歯舞地区は、屋根付き岸壁等の衛生管理型施設が供用され、高付加価値の水産物を国内外に供給する拠点となっています。

今後も地域の基幹産業である水産業の更なる振興を図るため、「水産業の成長産業化に向けた拠点機能の強化」や「持続可能な漁業生産体制を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化」を推進します。

【^{アッケシ}厚岸地区】

漁船の安全な航行を確保するための航路の整備や高潮被害の防止を図るための岸壁嵩上げ整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、岸壁等の整備を行います。



岸壁嵩上げ整備状況

【^{オモイシ}落石地区】

漁業活動の安全性を向上させるための道路の整備、漁船の安全な係留を図るための防波堤の整備、衛生管理対策強化を図るための用地の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、道路の整備を行います。



防波堤整備状況

【^{オオツ}大津地区】

主要魚種であるサケなどの衛生管理対策の強化を図るため、屋根付き岸壁等の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、航路・泊地の浚渫を行います。



屋根付き岸壁整備状況

【^{ハボマイ}齒舞地区】

水産物流通の効率化を図るための道路の整備や越波・越流被害の防止を図るための護岸等の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、防波堤等の整備を行います。



護岸嵩上げ整備状況

【^{ラウス}羅臼地区】

荒天時に漁船の安全性を確保するための防波堤の整備や水産物流通機能の強化を図るための屋根付き岸壁等の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、橋梁等の整備を行います。



防波堤整備状況

水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港 漁場整備 事業	厚岸地区 (第3種厚岸漁港)	水域施設：水深5.5m航路(湖南) 係留施設：水深4.0m岸壁(改良)(湖北)
	落石地区 (第3種落石漁港)	【落石工区】 漁港施設用地：用地(改良) 【浜松工区】 輸送施設：道路, 道路(改良) 【昆布盛工区】 外郭施設：東防波堤
	大津地区 (第4種大津漁港)	係留施設：水深3.5m岸壁(改良) 輸送施設：道路(改良)
	齒舞地区 (第4種齒舞漁港)	【齒舞工区】 外郭施設：西護岸(改良) 輸送施設：道路(改良) 【瑤瑠工区】 係留施設：水深2.0m物揚場(改良)
	羅臼地区 (第4種羅臼漁港)	外郭施設：突堤 係留施設：水深4.0m岸壁(改良) 漁港施設用地：用地(改良)
	釧路管内地区	【厚岸漁港】 水域施設：水深5.5m航路(補修) 係留施設：水深4.5m岸壁(補修) 【落石漁港】 輸送施設：道路(補修)(浜松) 【大津漁港】 水域施設：水深4.5m航路(補修), 水深3.0m泊地(補修) 【齒舞漁港】 外郭施設：西防波堤(補修)(温根元) 輸送施設：道路3(補修)(齒舞) 【羅臼漁港】 係留施設：水深3.5m岸壁(附带施設)(補修), 船揚場(補修) 輸送施設：橋梁(補修), 道路(補修)